

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会	
2 事業名	中勘助が平塚に居を構えて100年記念事業	
3 コース区分・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	41 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和6年4月1日 ~ (完了期日) 令和7年3月31日	
5 事業の目的	申請書と同じ内容を記入してください。 中勘助が平塚に居を構えて100年 ⇒ より多くの市内外の人々に、平塚における中勘助の文学的功績を知って貰う ●文化的要素が少ない街と云われて来た平塚 ⇒ 豊かな自然環境の中に、中勘助が記した素晴らしい詩や文章がある。 (余り知られていない) ●中勘助の平塚時代のことは『しづかな流』に活写されている。 ⇒ 詩や文書を活かせば、文化薫る街にできる。 (中勘助を知って貰う活動が必要) 講演会、読書会、中勘助の散歩路を歩く会等を開催。 ●文学碑を出発点として、随所で詩の朗読をしながら、中さんの散歩路を市民と共に散策 ⇒ 散歩路の拡大図・ビューポイントを掲載 <広く告知>	
6 実施した内容	◆「中さんの散歩路」コース看板の設置 設置工事(09/17)、竣工式(09/18) 中勘助碑に隣接する形で、鮮明な案内看板を設置。 散歩路の紹介に寄与すると思われます。 ◆記念講演会 & コンサートの開催 チラシ1000部を作成(09/16)し、中央公民館・図書館・博物館・美術館に配架。併せて、会員を通じて参加者を勧誘。同時にホームページにて開催案内を告知(09/16) 市の広報(10/05)を受け、一斉に募集開始。博多・東京・鎌倉等、遠地からも参加希望有り・応募者多数にて募集制限をご案内(10/28) 満場の参加者にて記念講演会 & コンサートを開催(11/9) ⇒ 中勘助のファンは全国に存在する事を知った。 ホームページ掲載(11/26) <協働推進課のご協力により動画も掲載> ◆当会発足から11年 活動記念誌を発行 上記イベントの終了を以って編集に着手(11/16) 書式・書体・表裏表紙の決定・役員分担による起草を決定(12/22) 中間レビュー(01/12、25、02/08、15、22) 編集に注力(～03/06)印刷投函(03/07) 67頁600部・印刷完了(03/20) 新年度に、図書館・博物館・美術館・小中学校等の教育施設に配付予定 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	

7 得られた成果・効果 活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。 また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。	◆「中さんの散歩路」コース看板の設置 散歩路・コース看板が出来ました。中勘助が詩文に認めた往時の情景を知ると共に、文学散歩により健康増進の機会を得られるようになった。 ◆記念講演会 & コンサートの開催 会員による地道な勧誘、ひらつか市広報誌への掲載、タウンニュース誌・読売新聞への掲載で、予想以上の来場者。 平塚界限からの多数の参加者、並びに東京・鎌倉・二宮方面からもお越し頂き、開場時には待ち行列が発生、急遽席数を増やし対応。 参加者から、以下の様な声が寄せられています。 ◎素晴らしい企画・構成で、とても良かったです。文学に触れ・音楽も楽しんで、充実した半日を過ごせました。 ◎素敵な詩と朗読・絵画と音楽の世界でした。ポスターの絵が中勘助の世界観と一体でした。中さんの想いは人・植物・動物・地球に対してとても先進的だったことが知れて良かったです。 等々『平塚ゆかりの作家 中勘助』の認知度アップに大いに貢献。 ◆当会発足から１１年 活動記念誌を発行 期間中に収集した中勘助の情報、並びに中勘助の慣用句『ご縁ですね』を体現化した随筆を読み易い形で収録。お仲間勧誘に活用可
8 反省点・課題 活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。 また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。	◆ビッグ・イベント（記念講演会 & コンサートの開催）に注力する必要があったことから活動記念誌の発行・着手に遅れが生じた。 同様に、本年は「中勘助の散歩路」ウォークを実施することが出来た。 ◆幅広く集客出来、中勘助ファンが全国に存在することを知った 更に情報発信し、平塚ゆかりの作家 中勘助を広めたい。 講演会の後工夫した施策ですが、サイトの認知度も高まった事から、Web集客・問合せをより簡易に行える仕組みを構築した。〔改善済み〕 ◆『平塚ゆかりの作家 中勘助』が、平塚に有り！を衆知頂くためには的確な情報発信が望まれる。 次年度企画『しづかな流』市民による手書復刻プロジェクト の情報発信に今後努める。
9 今後の事業展望等 活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。	◆『しづかな流』が絶版の現状を踏まえ、既成概念（中勘助のファンは高齢者が多い、パソコン・メールが使えない）を凌駕する考えのもと、書画に取り組み底辺の拡大を図る。 ◆平塚における地道な中勘助活動をHP掲載により全国へ発信、平塚での中勘助を、より多くの人と学び、広めたい。

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄

発展コース補助割合確認 ☐

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

① 収 入	項 目	予算額（円）		決算額（円）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）			
	補助金	410,000		410,000		0		平塚市市民活動推進補助金			
	会の負担	7,620		20,514		12,894		団体会員年会費の一部を事業費に充当			
	寄付金	100,000		310,000		210,000		活動の賛同者からの寄付			
	収入合計	A	517,620	B	740,514	B－A	222,894	発展コース：補助対象経費 740,514 円 × 80 % = 592,411 円 補助限度額 410,000 円			
② 支 出	項 目	予算額（円） （うち補助金額）		決算額（円）		補助対象経費（円） （うち補助金額）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）	
	工事費（案内看板 等作成設置費）	250,000 （ 250,000 ）		154,180		154,180 （ 150,000 ）		-95,820		製作費コジマ美装社154,000円、みどり公園課登録費180円	
	講師謝礼	100,000 （ 100,000 ）		180,000		180,000 （ 180,000 ）		80,000		木内講師30,000円、作曲家中村氏30,000円 テノール歌手50,000円、ピアノ演奏35,000円 調律25,000円 絵描写10,000円	
	消耗品費	15,990 （ 0 ）		8,686		8,686 （ 0 ）		-7,304		コピー代3,340円 封筒1,650円 インク代等3,696円	
	印刷費	134,600 （ 60,000 ）		376,962		376,962 （ 80,000 ）		242,362		印刷・製本代 600部	
	通信運搬費	7,230 （ 0 ）		20,686		20,686 （ 0 ）		13,456		ハガキ300枚×63円 切手94円×19	
	広告宣伝費	4,800 （ 0 ）		0		0 （ 0 ）		-4,800		会員により対応	
	使用料	5,000 （ 0 ）		0		0 （ 0 ）		-5,000		社会教育課協賛により免除	
	支出合計	C	517,620 （ 410,000 ）	D	740,514		740,514 （ 410,000 ）	D－C	222,894		
③収支決算額		B	740,514 円	－	D	740,514 円	=	0 円	【備考】		

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

令和6年度・補助金使途報告書

中勘助が平塚に居を構えて100年記念事業
〔発展コース〕



2025年03月31日

平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会

活動状況を画像にて紹介

詳細はHPに掲載 <https://shonan-hills.com>



文学碑の近傍にコース看板を設置



散歩路の全貌を一望頂けます。

中勘助の 平塚時代

中勘助平塚居住 100 年記念
記念講演会＆コンサート

講演会＆コンサート
案内チラシ

2024

11.9
Sat

開場 13:00
開演 13:30 - 15:30

開催場：中勘助平塚居住 100 年記念 中勘助の平塚時代
～ 講演会、主としてコンサート
10月5日(土) 10月12日(土) 10月19日(土)
会場：中勘助記念館



満席の開場様様①



満席の開場様様②



木内教授講演様様



迫力のある歌唱ンサート



関係者の集合写真



当会発足から11年 活動記念誌を発行



活動誌の納品状況



活動誌の冊子状況

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	認定特定非営利活動法人JUDO's	
2 事業名	海外柔道家と平塚市の皆さんとの交流事業	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ <u>発展コース</u>	33 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和6年4月1日 ~ (完了期日) 令和7年3月31日	
5 事業の目的	平塚市の皆さんと本法人が受け入れた海外からの柔道家が、国際交流を通じ異文化についての理解を深め、平和について考え、学び共有する場をつくる。 本法人は、2019年より、自国において様々な理由で柔道の指導方法を習得することが困難な柔道家を対象に、指導者を育成するための研修（国際柔道コーチングセミナー）を実施しています。（2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず）、2023年に4年ぶりとなるセミナーを開催しました。セミナーは、柔道の世界トップレベルの東海大学を拠点として、柔道の修養だけではなく、広島平和記念資料館を訪問し平和について考え、京都で日本文化に触れるなどの機会を提供しています。 そこで、本法人はこの活動を発展するために、柔道家だけではなく、平塚市の皆さんが参加することのできる交流会を実施し、普段かかわることのない国々の方々との幅広い交流を通して、言語や地域の違いを越え、異文化を理解するための学び共有する場を提供することを目的とします。	
6 実施した内容	平塚市民が、海外の柔道家と国際交流を行うことを目的にし、次の事業を実施しました。 1. 交流会（1回実施） 2024年10月22日 平塚ろう学校 参加人数23名・外国人参加者6カ国6名 2. 柔道交流 海外からの柔道家と平塚市の柔道家の交流の場を提供した。 ①フランス 2024年4月16日 平塚市総合体育館 参加人数約120名・外国人参加者27名 ②コスタリカ・カナダ 2024年8月15日 平塚市総合体育館 参加人数約100名・外国人参加者2名 ③コソボ・カンボジア・アゼルバイジャン・ベネズエラ・ラトビア・ポーランド 2024年10月22日 平塚市総合体育館 参加者人数約120名・外国人参加者6名 ④ベネズエラ 2024年11月23日 直心館中西道場 参加者人数21名・外国人参加者1名 3. 出前講座（2回実施） ①2024年8月15日 平塚市総合体育館 参加人数約100名・外国人参加者2名 ②2024年10月22日 平塚ろう学校 参加人数23名・外国人参加者6カ国6名 ③2024年10月22日 平塚市総合体育館 参加者人数約120名・外国人参加者6名 4. その他（東京都在住の担当スタッフ1名について） 平塚ろう学校で先生方と打合せと下見（7/9）、10/22のイベントについて東海大学で打合せ（8/20）、10/22の講師（デフ柔道家）との打合せ（9/28）	

7 得られた成果・効果 活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。 また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。	1. 国際理解の促進 様々な国の柔道家と交流を持つことで、異なる文化や価値観への理解が深まりました。参加者からは「実際に外国人と交流して、はじめは緊張したけど、段々と楽しくなってきた」という声があり、異文化交流の意義を実感する機会となりました。 2. 英語学習のモチベーション向上 海外の柔道家との会話を通じて、英語を実践的に使用する場面が多くありました。参加者の中には英語だけではなく「スペイン語を話したのが、面白かった!」という感想もあり、言語を通じた交流の楽しさを実感するとともに、英語や他の言語を学ぶ意欲の向上につながりました。 3. 平塚市の認知度向上 平塚市を訪れた海外の柔道家は、市民の温かなおもてなしや優しさに触れ、その魅力を知ることができました。そして、その経験が発信につながるきっかけとなりました。 4. 社会課題に目を向ける機会提供 紛争を経験している地域からの参加者との交流を通じて、実際の状況を知ることができました。参加者からは「紛争について考えるきっかけになった」という声もあり、国際的な社会課題への理解を深める貴重な経験となりました。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。 また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。	本法人は柔道を通じた活動を行う団体であるため、出前講座のみを実施するのは難しかった。また、柔道関係者以外とのつながりが少なく、一般の方々への周知が十分にできなかった。 そこで、柔道交流や柔道体験教室の前後に、本法人の活動紹介や外国人柔道家の出身国の紹介などを行い、より多くの人に興味を持ってもらえるよう工夫した。 出前講座という話をする事業ではなく、「柔道エクササイズ」として柔道を身近に感じていただきながら、一般市民の方々と交流をする事業を検討した。（市民活動推進補助金には申請をしていないが、実際にイベント行ったところ好評だった） また、ろう学校では、日本語・英語・手話通訳など、予定したより多くの方々の協力が必要でした。
9 今後の事業展望等 活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。	令和6年度は、本法人の活動を紹介し、「国際協力とは何か」を考える場を提供しました。しかし、国際交流に関心のない方々へのアプローチには課題がありました。来年度からは、引き続き柔道を通じた国際交流の輪を広げつつ、より多くの市民が興味を持てる取り組みとして、一般市民向けの「柔道エクササイズ」を実施していきたいと考えています。 また、令和7年には、日本で初めてデフリンピックが開催されます。これに伴い、ろう学校での柔道交流を引き続き実施するとともに、デフ柔道家との交流も積極的に進めてまいります。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 ☐
--------	--------------------------------------

① 収 入	項 目	予算額（円）		決算額（円）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）			
	補助金	400,000		400,000		0		平塚市市民活動推進補助金			
	寄附金	45,785		39,035		-6,750		法人への寄附金			
			A	445,785	B	439,035	B－A	-6,750	発展コース：補助対象経費 369,035 円 × 90 % = 332,131 円 補助限度額 330,000 円		
② 支 出	項 目	予算額（円） （うち補助金額）		決算額（円）		補助対象経費（円） （うち補助金額）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）	
	消耗品費		80,500 (72,000)		64,142		64,142 (60,000)		-16,358	書類用紙A4（4,170円）×2箱＝8,340円、印刷用下ナール（マゼンダ9,533円、シアン9,714円、イエロー9,800×2、ブラッグ8,870円＝47,717円）、フラッグ2,695円×3枚＝8,085	
	謝金		240,000 (216,000)		217,055		217,055 (196,000)		-22,945	講師への謝金22,274円×5名＝111,370円、通訳への謝金22,274円、臨時スタッフ謝金10,000円×5名、11,137×3名＝83,411	
	印刷製本費		39,285 (35,000)		27,825		27,825 (20,000)		-11,460	展示印刷用パネル1,855円×15枚＝27,825円（印刷は東海大学のプリンターを使用したため金額変更）	
	通信運搬費		10,000 (9,000)		3,460		3,460 (3,000)		-6,540	切手（84円×30＝2,520、94円×10＝940）講師への案内や書類の発送のため	
	旅費・交通費		26,000 (23,000)		6,553		6,553 (6,000)		-19,447	ろう学校下見7/9：荻窪から1,612円、平塚柔道協会との交流日8/15：駐車場300円、東海大学での打合せ8/20：荻窪から1,612円、東京学芸大での打合せ9/28：荻窪から860円、ろう学校イベント日10/22：荻窪から2,169円	
	使用料		50,000 (45,000)		50,000		50,000 (45,000)		0	会場使用料（直心館50,000円）	
			()				()				
		支出合計	C	445,785 (400,000)	D	369,035		369,035 (330,000)	D－C	-76,750	
③収支決算額		B	439,035 円	－	D	369,035 円	=	70,000 円		【備考】 余剰金70,000円は返還します。	

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



4月16日平塚市総合体育館
フランスの柔道家と平塚市の子どもたちが交流



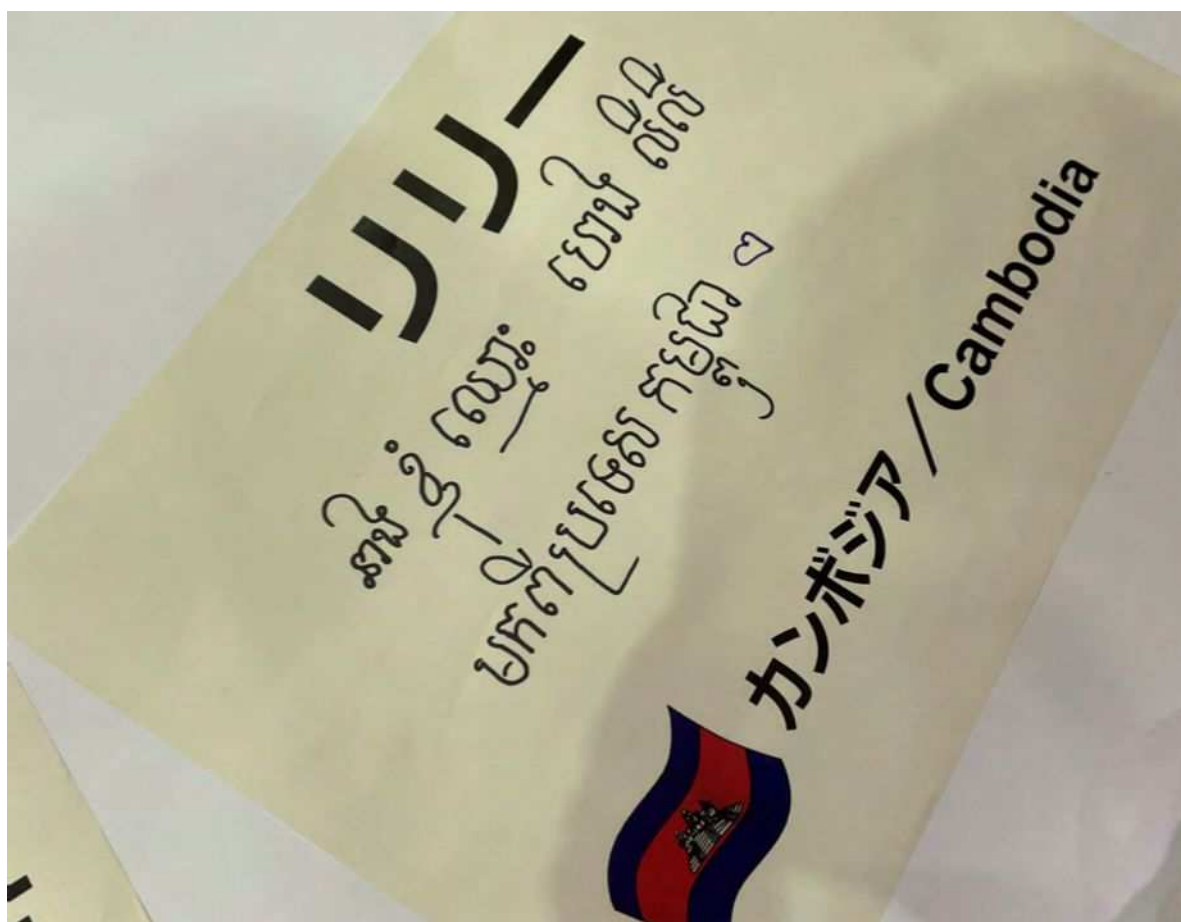
10月22日平塚市総合体育館

コソボ、カンボジア、アゼルバイジャン、ベネズエラ、ラトビア、
ポーランドの柔道家と平塚市の子どもたちが交流



ベネズエラの柔道家

アンリケリス・バリオスさん（フォロワー11.2万人）にも平塚での柔道交流を取り上げていただきました。



10月22日平塚ろう学校

コソボ、カンボジア、アゼルバイジャン、ベネズエラ、ラトビア、
ポーランドの柔道家と平塚ろう学校の中学生が交流



8月15日平塚市総合体育館

カナダ、コスタリカの柔道家と平塚市の子どもたちが交流



11月23日 直心館中西道場

ベネズエラの柔道家と平塚市の子どもたちが交流

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（組織基盤整備コース）

1 団体名	NPO法人湘南平塚ささ里地里山ラボ
2 活動・事業名	講習会指導人材育成・財務管理強化
3 補助額	17 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和6年4月1日 ~ (完了期日) 令和7年3月31日
5 組織基盤整備の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	・既存スタッフの理論面のレベルアップを図る。 ・新たな講習会指導スタッフ候補者を発掘する。 ・講習会実施・内部管理マニュアルを作成しノウハウを継承しやすくする。 ・財務管理のシステム化を図る。
6 実施した内容 事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数、作成数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	●外部講師による研修会3回（各90分）実施 4月 「夏野菜栽培」 参加者20名 9月 「秋冬野菜栽培」 参加者20名 2月 「菜園計画」 参加者22名 ●NPO法人用会計ソフト導入にによる財務管理強化 5月 パソコン・会計ソフト導入し帳簿入力開始 10月～ 中間決算処理試行、予実管理実施

7 得られた 成果・効果 事業を実施したことで 良かった点、得られた 成果、確認された効果 などについて記入して ください。	●講習会指導人材育成 質疑応答も含め実践的知識のレベルアップが図られた。 指導スタッフを新たに2名増員できた。 講習会実施・内部管理マニュアルを作成した。 ●財務管理強化 タイムリーな仮決算処理、予実管理が可能となり財務管理機能が強化された。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してください。 また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。	●講習会指導人材育成 来年度以降も人材育成が必要、外部講師による研修会の継続開催を検討してゆく。 引き続き若手指導スタッフの増員が必要。 継続的にマニュアルをブラッシュアップしてゆく必要がある。 ●財務管理強化 会計処理のシステムノウハウの共有化が必要。
9 今後の 活動計画・ 事業展望等 事業について今後も継 続的に行うものであれ ば、その計画や、団体 としての今後の活動計 画・事業展望等を記入 してください。	・外部講師による研修会の参加者を広く募集し、農園会員や指導スタッフ拡大を図りたい。 ・マニュアルの充実を図るとともに、若いスタッフの発掘に注力し、次世代に事業を引き継ぐ環境を整備したい。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

① 収 入	項 目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)		
	補助金	170,000		170,000		0	平塚市市民活動推進補助金		
	団体会員の会費	0		1,467		1,467			
	収入合計	A 170,000		B 171,467		B - A 1,467			
② 支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)		決算額 (円)		補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	農園スタッフ研修 講師料	90,000 (90,000)		90,000		90,000 (90,000)		0	1回90分3万円×3回 東京農大農学部教授
	NPO法人会計ソフト 代金	40,000 (40,000)		38,667		38,667 (38,667)		-1,333	
	パソコン購入代金	40,000 (40,000)		42,800		42,800 (41,333)		2,800	リユースノートパソコン
		()				()			
		()				()			
		()				()			
		()				()			
	支出合計	C 170,000 (170,000)		D 171,467		171,467 (170,000)		D - C 1,467	
	③収支決算額		B 171,467 円		- D 171,467 円		= 0 円		【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

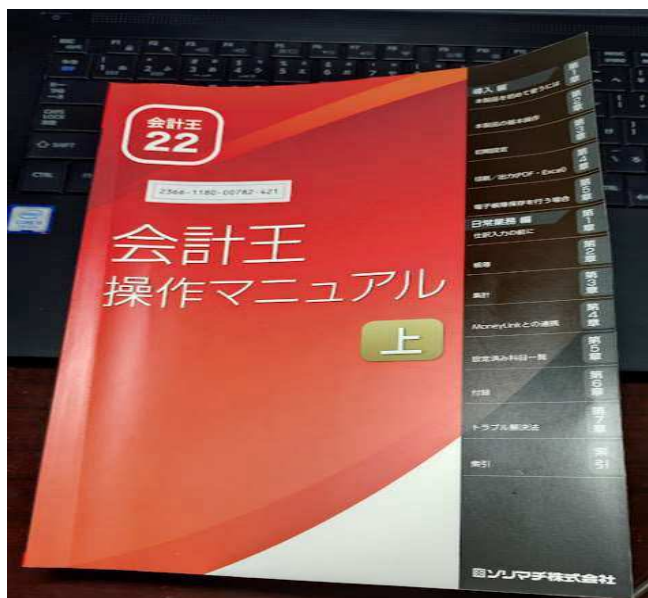
「講習会指導人材育成・財務管理強化」活動状況（写真）



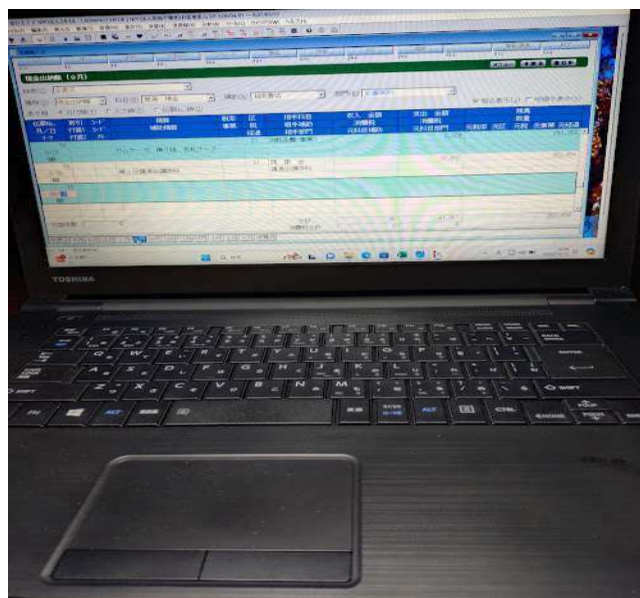
外部講師による研修会



外部講師による研修会



NPO 法人用会計ソフトマニュアル



購入パソコンによる会計データ入力

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（組織基盤整備コース）

1 団体名	ママぎゅっと
2 活動・事業名	ママブランディング
3 補助額	17 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和6年4月1日 ~ (完了期日) 令和7年3月31日
5 組織基盤整備の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	1. 団体内のメンバー同士でのビジョンの共有の強化 2. ママぎゅっとの活動に共感し、ともに活動してくれるママ(パパ)メンバーの増員。 3. ママぎゅっとの活動に共感し、ともに活動してくれる支援企業の募集（ママぎゅっとのビジョンを多くの平塚在住ママ(パパ)と共感するために発信できる状態を作ること。（例：他地域のママ団体との違いが何かなどをメンバーや地域の人と共有すること））
6 実施した内容 事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数、作成数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	①リーフレット制作 4月21日 コアメンバー事業キックオフMTG(5名参加) 5月25日 リーフレット企画会議(6名参加) 6月8日、リーフレットデザイン打ち合わせ(6名参加@オンライン) 8月24日 コアメンバーMTG 10月26日 リーフレット編集MTG(5名参加) 12月28日 リーフレット掲載キャッチコピー作成(5名) 1月19日 リーフレットデザイン案確認MTG 2月8日 リーフレット写真撮影 3月リーフレット印刷 3月31日 リーフレット配布お披露目会(ひらしんホール。参加者16名) ②組織力強化講座実施 8月18日「ブランディング講座実施」(参加者8名) 12月1日 ファイナンシャル講座(参加者5名) 3月16日「わってらかにて組織力研修」 ③ママぎゅっとフェス実施 7月13日 ママぎゅっとフェス企画MTG 7月 ママぎゅっとフェス参加者募集開始(インスタほか) サポート企業の募集 2024年9月 ママぎゅっとフェス実施告知開始(インスタほか) ④新規親子イベント出店、新規イベントの立ち上げ 2024年11月/12月/2月 コアメンバによる親子イベント「ハイタッチイベント」にてママぎゅっと団体告知(ママパパ記者募集) 2024年12月2日 「おやこでぎゅっと」実施(参加者5名) ・ママ記者研修は希望者とタイミングが合わず実施できず ・ママぎゅっとサポーター企業募集開始(ママぎゅっとサポーターHPでの告知を拡大するとこまではいかず)

7 得られた 成果・効果 事業を実施したことで 良かった点、得られた 成果、確認された効果 などについて記入して ください。	①リーフレットが完成し、企業サポーターを募る準備ができた。 ②ママぎゅっとフェスへの新規参加ブース5ブース 平塚市を中心に活動するママパパとの新しい繋がりが出来、記事執筆の依頼もあった(記事12本作成)。 ③新規イベントへのママぎゅっとの出店ができた(11月、12月、2月参加) ママぎゅっとフェスやママぎゅっと企画のイベントに出店してくれていたママさんが独自のフェスを立ち上げ、そこに協力出店することができた。 ④リーフレット作成の過程で、ママぎゅっとのコンセプトが明確になり、他団体や企業、参加したいママパパへの説明力が上がり、問い合わせに対する対応力が上がった。 ⑤新しいコアメンバーがママぎゅっとのコンセプトを大事にした独自の親子向け企画を立ち上げ、実施することができた。 ⑥新規ママパパ記者問い合わせ(3件) ママぎゅっとフェスの参加者、「ハイタッチ」イベントの参加者、コアメンバーの身近なメンバーからの問い合わせがあった
8 反省点・課題 活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してください。 また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。	①リーフレットの印刷が遅れてしまったことにより企業への配布や、訪問がまだ口頭ベースでしかできていない。 ②ママパパ記者への記者研修がタイミングが合わず、実戦からスタートするママ記者がいてフォロー体制ができていなかった。 ③依頼があって執筆した記事をsopoにアップするに至っていない、ママぎゅっとフェスなどを通じて取材先の候補が増えたが記事化に至っていない。
9 今 後 の 活動計画・ 事業展望等 事業について今後も継 続的に行うものであれ ば、その計画や、団体 としての今後の活動計 画・事業展望等を記入 してください。	①平塚市の商店会、各種団体、市民活動団体、支援団体、企業に向けてリーフレットを配布、設置するためのスケジュール作りを行う ②デビューしたママパパ記者含め、定期的にママぎゅっとの記者研修を実施するとともに、記事執筆のための型を作成し、記事を書くハードルを下げる。 ③sopoの運営体制を構築し、定期的に記事アップを行うことでママぎゅっとの認知を高め、子育てしやすい街づくりを目指す。 ④他団体のコンセプト作りや、団体運営のサポート、代表代行を行っていきたい。「まごぎゅっと」になっても活動を続けられるような団体でありたい。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

① 収 入	項 目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)		
	補助金	170,000		170,000		0		平塚市市民活動推進補助金		
	寄附金	0		796		796				
	収入合計	A 170,000		B 170,796		B - A 796				
② 支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)		決算額 (円)		補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)
	リーフレット印刷 費	35,000 (35,000)		35,531		35,531 (35,000)		531		リーフレット印刷2,800部(A3 両面二つ折り)
	リーフレット制作 費	70,000 (70,000)		70,000		70,000 (70,000)		0		デザイン費 40,000円(4ページ分) 編集費 30,000円
	講師費	60,000 (60,000)		60,000		60,000 (60,000)		0		講座3回(1回20,000円)
	雑費	5,000 (5,000)		5,265		5,265 (5,000)		265		会議費(1200円/ひらしんホール)プロジェクター代(1700円/ひらしんホール) メモ帳5個(2,365円)
		()				()				
		()				()				
		()				()				
	支出合計	C 170,000 (170,000)		D 170,796		170,796 (170,000)		D - C 796		
③収支決算額		B 170,796 円		- D 170,796 円		=		0 円		【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

mama gyuuutto mama branding



パンフレット
完成！



vol.1

ブランディング講座



2024年8月18日
まちなかベースきちきち
講師/平塚まちなか活性化隊
八木賢一さん



vol.2

ファイナンシャル講座

2024年12月1日
税理士法人タックス・ケア
講師/公認会計士
土屋宗之さん

vol.3

チームマネジメント
講座



2025年3月16日
カフェわってらか
講師/わってらか
五十嵐敦子 代表

with mamagyuuutto

Be A Partner

企業、団体の皆様、サポートをお願いします

私たちの活動に賛同してくださるパートナー企業、団体様を募集しています。平塚の子育て世代の出会いと繋がりと共に育みませんか？

Join Us

私たちと一緒に活動しませんか？

「söpöひらつか」のwebライターをはじめ、一緒に活動してくれる方を募集しています。平塚のことが知りたい、何かやってみたいママパパさん、お気軽にお問い合わせください。

Our Service

まるっと、ぎゅっと、おまかせください

ファミリー層をメインターゲットとした
マーケティング、イベントや講座の企画・運営から、
ターゲットに届くコンテンツ制作やSNS運用のお手伝いをします。

01 コンテンツ制作

写真撮影
ライティング
リーフレット
ロゴデザイン

02 マーケティング

座談会企画
アンケート調査

03 企画・運営

イベント
ワークショップ
研修

Keep In Touch

ママを、ぎゅっと

mamagyuuutto
HP



mamagyuuutto
instagram



söpö hiratsuka
HP



✉ mamagyuuutto@gmail.com

このパンフレットは平塚市市民活動推進補助金事業で制作しました



ママを、ぎゅっと

平塚市民活動団体 ママぎゅっと

photo @aki_k_27 photograph
model endo family
editor noriko takahashi
design tomoko.o



About Us

愛を、ぎゅっと。
好きを、ぎゅっと。
ママをぎゅうううと、抱きしめて。
平塚をまん中に、ママの新しい出会いとつながりを育む、
ママによるママのためのユニット
「mamagyuutto (ママぎゅっと)」。
地域の人材発掘と魅力発信、女性の自立を目的に、
2018年に平塚市内で活動するママ講師を中心に設立しました。

ママぎゅっと / 実績

2018年

- ママぎゅっと 発足
- ママぎゅっとフェス@絵本カフェ「きいろいおうち」

2019年

- ママぎゅっとフェス@ひらつか市民活動センター
シェアデザイナー兼協力@平塚八幡宮参集殿(2019年～現在)
- ママぎゅっとビューティフェス@学芸「未来の遊園地 チームラボ湘南平塚店」
- レトロ懐かしい夏祭り@OSC湘南シティ
- GLOBAL WORK CITY フェス@GLOBAL WORKららぽーと平塚店 神奈川新聞コラボ
- GLOBAL WORK CITY フェス@GLOBAL WORKららぽーと平塚店 Wxb worksコラボ
- ママぎゅっとクリスマスフェス@ららぽーと湘南平塚 SHONANTREE HOUSE

2020年

- たがすけ自動車(小田原市)感謝DAY しんぶんアソビとタッセル作りブース出店
- コロナ第2期限定一時預かり「Trimの教室」ワークショップ企画
- コロナ禍の休校親子読書プロジェクト「ひらつかあそびおうち」参加型チャンネルの開設



- ヴェールダンサー@尾崎美穂さんプロデュース
- 小規模事業持続化補助金ミニセミナー
- 小田原市ママ団体「NPO法人mama's hug」イラスト制作
- コロナ禍休校振り返りママババアンケート
- ママ座談会「MAMA'S TALK」企画/実施(Webメディア掲載)
- HP作成講座
- 平塚市市民活動推進補助金事業 ママを救うスクール「ママスク」

2021年

- Hygge cafe企画/開催@ひらつか市民活動センター
- 夏休み密着応援企画「図画ポスターLab」@ひらつか市民活動センター

ママぎゅっとフェス

地域のママババ達の「交流の場」mama gyuutto fes.
ママババ講師や作家によるワークショップ、ハンドメイド作品の出品で、「出会い」「つながり」「自分時間(リフレッシュ)」をサポートします。
活動理念に共感し、子育て支援に協力してくれる地域店の出店も!



Instagram

平塚をまん中に、子育て世代の「出会い」「つながり」「自分時間」に役立つ情報をぎゅっと集めて発信しています。
親子イベントやワークショップの開催情報がいっぱい! フォローお願いします。



sôpôひらつか

ママぎゅっとが運営する【平塚子育て情報をぎゅっと集めたウェブサイト「sôpôひらつか」】。sôpô(そぽ)はフィンランドの言葉で「がわいい!」という意味です。ママやババが記者となり平塚市内の子育てに役立つ「たべる」「まなぶ」「あそぶ」「くらす」情報を発信しています。



ママアンケート

平塚市のママババの興味関心を調査し、もっと子育てを楽しめる街づくりを考えるため、2022年度平塚市市民活動推進補助金事業のひとつとしてママアンケートを実施。街への期待、魅力、要望などの声を元に「ママレポート」冊子を作成しました。
調査結果もぜひご覧ください。



2022年

- 第3回平塚市みんなのまち作り事例大賞受賞
- 平塚市市民活動推進補助金事業 ママ1000人アンケート実施
- ママ記者養成講座
- 夏休み密着応援企画「図画ポスターLab」@ひらつか市民活動センター
- ママぎゅっとオンライン座談会企画開催
- ママデザイン養成講座

2023年

- 平塚市市民活動推進補助金事業 ママレポート発行
- 子連れ外食アンケート実施
- ららぽーと湘南平塚 SHONAN TREE HOUSEコラボワークショップ企画/開催
- こどもワクワクフェスタ2023出店@ひらつか市民活動センター
- 有隣堂ららぽーと湘南平塚店イベント企画/運営
- 湘南ジャーナル「平塚子育てのヒント」企画/取材/執筆(ママ記者)
- ママぎゅっとフェス@ひらつか市民活動センター
- canva講座企画/開催@ひらつか市民活動センター
- 食育セミナー講師派遣@平塚市福祉会館

2024年

- 子育てポータルサイト「sôpôひらつか」完成
- 子どもワクワクフェスタ2024出店@ひらつか市民活動センター

2025年

- ママぎゅっとパンフレット完成
- 夏休み密着応援企画「図画ポスターLab」@ひらつか市民活動センター
- スノードームづくりワークショップ企画開催@保原支会館「Trimの教室」
- 平塚まち活メンバー取材/執筆/撮影
- ママぎゅっとフェス@ひらつか市民活動センター
- ハイタッチ@平塚八幡宮 赤ちゃんの体置湯室とご機嫌図
- おやこでぎゅっとイベント企画/開催 親子フォト撮影講座 着せかえおひらつか市民活動センター
- ママぎゅっとBar with まちかつ@キチキチ

2025年

- ママぎゅっとパンフレット完成

